

MINI REPORT 2008

ミニレポート 2008

2008年9月期 上半期ディスクロージャー誌

『明日』のあんしん。



■ 埼玉県信用農業協同組合連合会 (平成20年9月末現在)

本店所在地	〒330-9001 さいたま市浦和区高砂3丁目12番9号
電話番号	048 (829) 3504 (代表)
設立	昭和23年8月
従業員数	192名
貯金残高	25,082億円
貸出金残高	2,248億円
出資金	766億円
自己資本比率	19.41%

CONTENTS

目次

● ごあいさつ	1
● JAグループ	2
● JAバンクシステム	2
● 経営方針	3
● 業績	4
● リスク管理債権及び金融再生法開示債権	5
● 有価証券等の時価情報	6
● 地域貢献活動	7
● 店舗等一覧	9
● 情報提供活動	9

ごあいさつ

平素より私ども埼玉県信用農業協同組合連合会(愛称/JAバンク埼玉県信連)をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

この度、当会の事業・経営に関する平成20年度中間期の業務概況を取りまとめた「ミニレポート 2008」を作成いたしました。この小冊子をご高覧いただき、当会に対するご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

さて、最近の当会を取り巻く情勢は、金融面につきましては、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融システム不安の再燃と、それに伴う世界経済の減速懸念が一段と強まるなか、金融機関は、より強固な財務基盤の拡充が求められるとともに、収益力の向上とリスク管理、内部統制、法令遵守などの内部管理態勢の強化が喫緊の経営課題となっております。

また、リテール分野においては、「ゆうちょ銀行」をはじめ、小売業等異業種からの金融事業への参入等により、顧客獲得をめぐる競争が更に激化しております。

一方、農業面につきましては、世界的な食糧不足が叫ばれるなか、わが国の食料自給率の低下、相次ぐ輸入食品等の事故を受け、安全・安心な国内農産物や農業への関心が従来にも増して高まってきており、「担い手」を中心とした農業構造の体質強化への取り組みが強く求められております。

このようななか、当会は、平成19年度から平成21年度にわたり「第9次中期経営計画」を鋭意実践し、埼玉県農業と経済の発展に寄与するとともに、お客様の期待と信頼に応える地域金融機関として、より一層の経営努力を行ってまいります。

また、JA・信連が一体となり、お客様へ安心と便利を提供する「JAバンクシステム」の充実・強化を図り、競争力のある経営体質を確立するとともに、リスク管理の徹底に努めてまいり所存でございますので、引き続き格別のご支援とご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

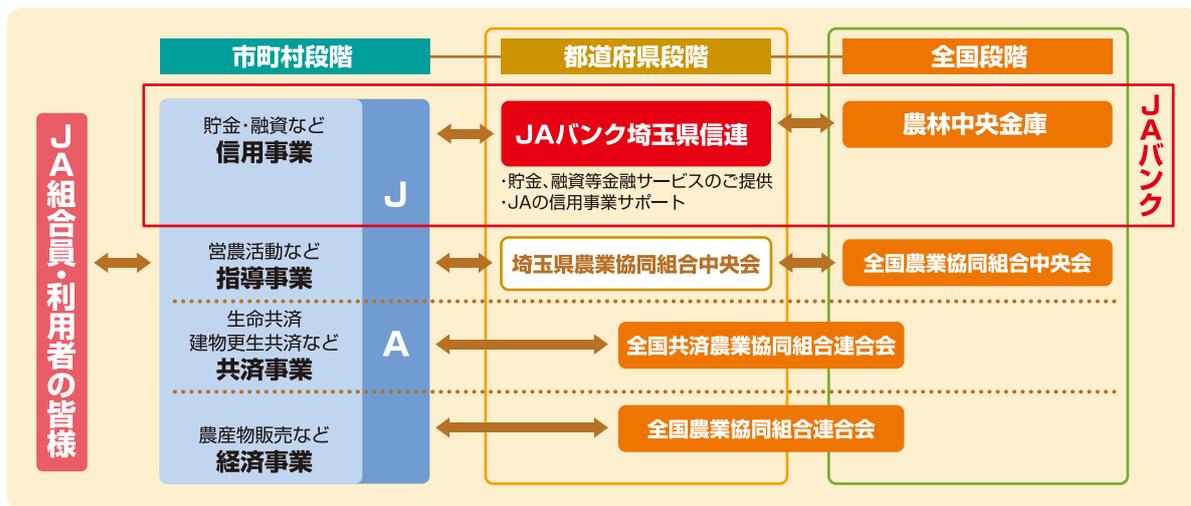
平成20年12月

経営管理委員会会長 江原正視
代表理事理事長 宮崎信夫

JAグループ

JAグループは、組合員組織を基盤に、市町村段階のJA、各事業別の都道府県段階並びに全国段階の連合会組織で構成し、それぞれが機能を分担し、信用・経済・共済・厚生・指導等の各事業を展開しています。

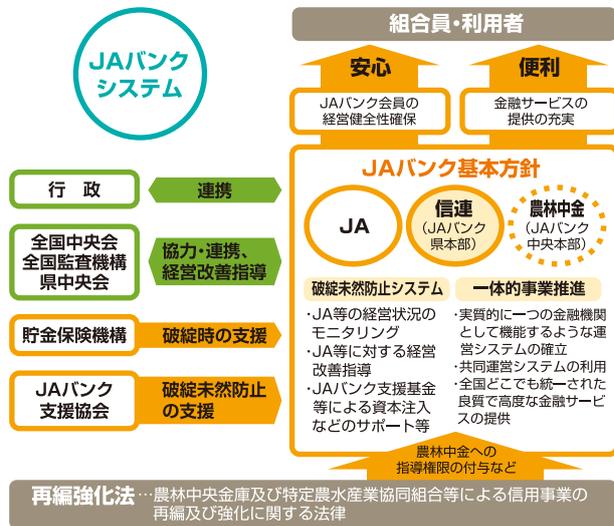
当会は、埼玉県における信用事業の連合会として、県下JAの事業運営をサポートするとともに、地域金融機関としてJAと一体となって、地域の皆様へ金融サービスをご提供できるよう努めております。



JAバンクシステム

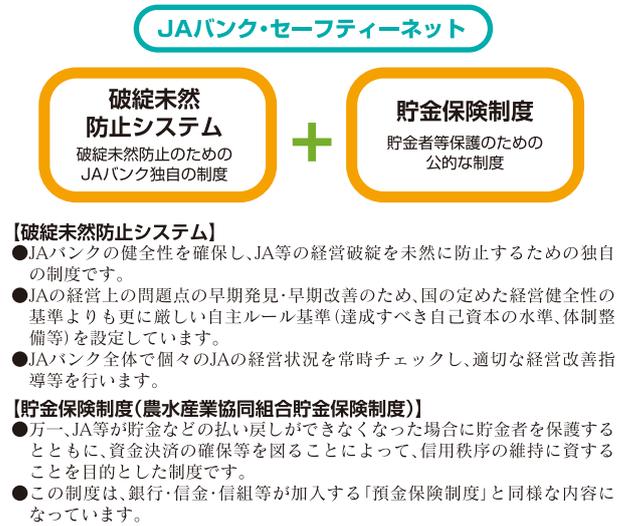
JAバンクシステム

組合員・利用者の皆様により一層の「便利」と「安心」をお届けするため、「JAバンク基本方針」に基づき、JA・信連・農林中金が一体的に事業に取り組むしくみを「JAバンクシステム」といいます。



JAバンク・セーフティーネット

JAバンクでは、組合員・利用者の皆様からより安心な金融機関として信頼を得るため、「破綻未然防止システム」と「貯金保険機構」により「JAバンク・セーフティーネット」を構築しています。



経営方針

当会は、「JAとともに顧客の期待と信頼に応え、地域経済の発展に寄与する金融機関(JAバンク)を目指す。」を経営理念に掲げ、平成19年度から「第9次中期経営計画」(平成19年度～平成21年度)をスタートさせ、そのなかで掲げた経営目標の達成に向け、施策の着実な実行に取り組んでおります。

経営理念

JAとともに顧客の期待と信頼に応え、地域経済の発展に寄与する金融機関(JAバンク)を目指す。

経営姿勢

当会は効率的な業務運営のもと、JAと一体となって強固な経営基盤並びにJAバンク埼玉を確立する。

第9次中期経営計画 (平成19年4月～平成22年3月)

経営戦略

信連の経営基盤の強化

1. 運用力強化による収益の確保
2. 財務基盤の強化
3. 経営管理体制の取組強化
4. 効率的な業務運営体制の構築
5. 人材育成と職員の意識改革
6. 社会的責任と地域貢献活動

JAバンク埼玉の経営基盤の強化

1. 核となる顧客基盤の拡充
2. リテール市場における競争戦略の展開
3. 経営管理体制の高度化

対処すべき課題

今後当会が取り組むべき課題を次のとおりとし、課題克服に向け重点施策を強力に実践してまいります。

第1 信連の経営基盤の強化

- 資金の効率運用による収益力強化
- 自己資本増強計画に基づく更なる自己資本の拡充
- 新BIS規制を踏まえたリスク管理態勢の強化
- コンプライアンスを重視した内部統制の強化

第2 JAバンク埼玉の経営基盤の強化

- 住宅ローンを中心としたJAバンクローンの伸長
- 安定的資金確保並びに家計メイン化に向けた年金・カード推進
- 農業担い手への金融面での対応強化
- 大口利用者への相談機能の充実・強化

業績

平成20年9月末の業績につきましては、経済・金融動向を踏まえ、リスク管理を徹底したなかで約30億円の当期剰余金を計上することができました。

また、自己資本比率は、JAバンクシステムで定めた8%基準を上回る19.41%で推移しております。

主な業績及び経営指標の推移

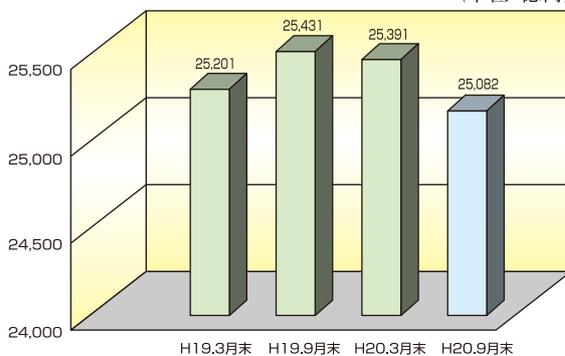
(単位:百万円,%)

	平成19年9月末	平成20年3月末	平成20年9月末
貯金	2,543,150	2,539,117	2,508,218
貸出金	215,073	211,891	224,884
預け金	1,611,050	1,614,056	1,566,452
有価証券	766,070	744,984	759,223
経常利益	3,605	4,103	3,176
当期剰余金	5,163	5,438	3,002
自己資本比率	19.03	18.24	19.41

(注)自己資本比率は、金融庁・農林水産省告示第2号農業協同組合等がその健全性を判断するための基準に基づき算出しております。

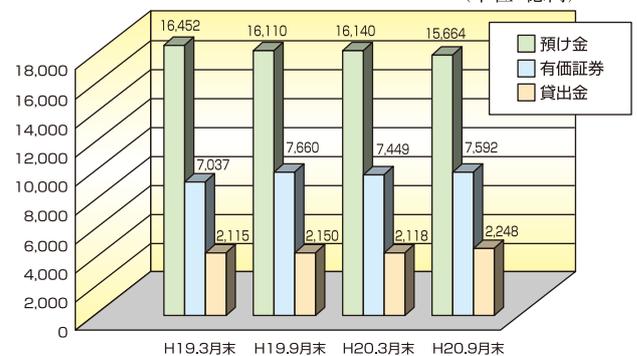
貯金残高推移

(単位:億円)



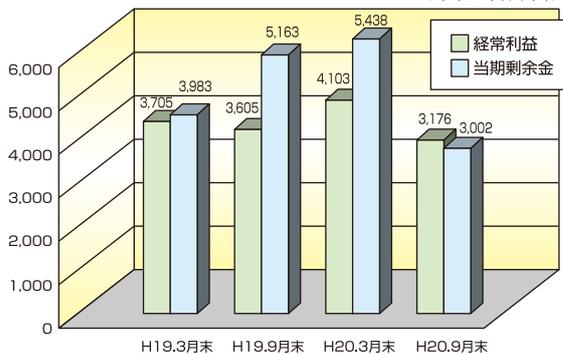
資金運用の状況

(単位:億円)



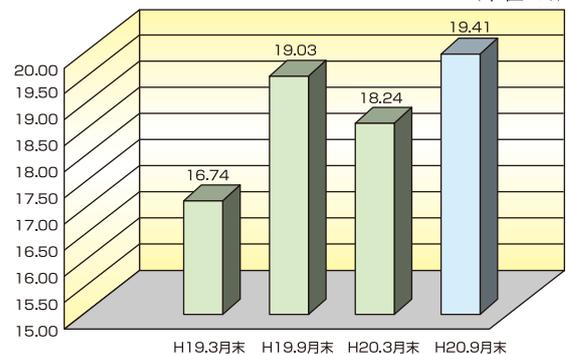
損益の状況

(単位:百万円)



自己資本比率の推移

(単位:%)



(注)平成19年9月末及び平成20年9月末の経常利益、当期剰余金並びに自己資本比率は、各期の仮決算結果に基づき算出したものです。

リスク管理債権及び金融再生法開示債権

■ 農業協同組合法に基づくリスク管理債権

(単位:百万円)

債権区分	H20.3月末	H20.9月末	増 減
破綻先債権	1,286	1,253	△32
延滞債権	858	949	91
3カ月以上延滞債権	—	2	2
貸出条件緩和債権	—	—	—
リスク管理債権合計	2,144	2,205	60

(注1) 破綻先債権

元本又は利息の支払の遅延が相当期間継続していること、その他の事由により元本又は利息の取立て又は弁済の見込みがないものとして未取利息を計上しなかった貸出金(貸倒償却を行った部分を除く。以下「未取利息不計上貸出金」という。)のうち、法人税法施行令第96条第1項第3号イからホまでに掲げる事由又は同項第4号に規定する事由が生じている貸出金をいいます。

(注2) 延滞債権

未取利息不計上貸出金であって、破綻先債権及び債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として利息の支払を猶予したものの以外の貸出金をいいます。

(注3) 3カ月以上延滞債権

元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から3カ月以上遅延している貸出金で、破綻先債権及び延滞債権に該当しないものをいいます。

(注4) 貸出条件緩和債権

債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破綻先債権、延滞債権、3カ月以上延滞債権に該当しないものをいいます。

【保全状況】

(単位:百万円、%)

債権区分	債権額 (A)	保 全 額			保全率 (B)/(A)
		担保・保証等	貸倒引当金	合計(B)	
破綻先債権	1,253	1,082	170	1,253	100.00
延滞債権	949	243	689	933	98.26
3カ月以上延滞債権	2	2	—	2	100.00
貸出条件緩和債権	—	—	—	—	—
リスク管理債権合計(C)	2,205	1,328	860	2,188	99.25
貸出金残高(D)	224,929				
リスク管理債権比率	0.98				

(注) リスク管理債権比率 = (C) / (D) × 100

■ 金融再生法に基づく開示債権

(単位:百万円)

債権区分	H20.3月末	H20.9月末	増 減
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	1,340	1,303	△37
危険債権	859	950	91
要管理債権	—	2	2
小 計	2,200	2,255	55
正 常 債 権	211,110	224,150	13,040
開示対象債権合計	213,310	226,404	13,093

(注1) 破産更正債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。

(注2) 危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。

(注3) 要管理債権

3カ月以上延滞債権で(注1)及び(注2)に該当しないもの並びに貸出条件緩和債権をいいます。

(注4) 正常債権

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題のないものとして、(注1)から(注3)までに掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

【保全状況】

(単位:百万円、%)

債権区分	債権額 (A)	保 全 額			保全率 (B)/(A)
		担保・保証等	貸倒引当金	合計(B)	
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	1,303	1,084	219	1,303	100.00
危険債権	950	243	689	933	98.26
要管理債権	2	2	—	2	100.00
小 計 (C)	2,255	1,330	909	2,239	92.27
正 常 債 権	224,150				
開示対象債権合計(D)	226,404				
不良債権比率	1.00				

(注) 不良債権比率 = (C) / (D) × 100

(注) 平成20年9月末の計数は、9月末の仮決算において3月末決算と同一に自己査定要領により実施した自己査定結果、並びに資産の評価及び償却・引当計上要領に基づき計上したものです。

● 有価証券等の時価情報

当会の有価証券等の時価及び評価差額等に関する事項は次のとおりです。

(単位:百万円)

区 分	平成20年3月末			平成20年9月末		
	取得価額	時 価	評価損益	取得価額	時 価	評価損益
売 買 目 的	—	—	—	—	—	—
満 期 保 有 目 的	324,094	326,588	2,493	327,621	327,787	166
そ の 他	420,696	420,889	192	435,584	431,602	△3,982
合 計	744,791	747,477	2,685	763,205	759,389	△3,815

(注1) 9月末の有価証券の時価は、9月末日における市場価格等に基づく時価により計上しております。

(注2) 満期保有目的の債券並びにその他有価証券の取得価額は、償却原価適用後、減損適用後の帳簿価額を記載しております。



地域貢献活動

事業を通じた地域貢献活動

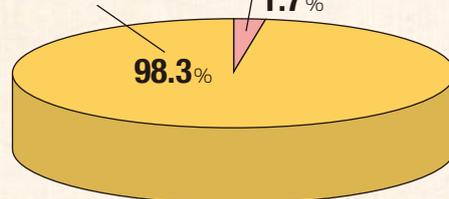
当会がお預りしている資金の大半は、県内のJAにお預けいただいた組合員・利用者の皆様
の大切な貯金を財源としております。そしてこれらの資金は、融資業務を通じて、農業関連法
人をはじめとする地域の企業・団体や地方公共団体等にご活用いただいております。

資金調達状況

平成20年9月末の当会の貯金残高は約2兆5,082億円となっており、うち約2兆4,651億円を県内JAからお預かりしております。

また、JAや農業団体だけでなく、地域金融機関として地方公共団体や地元企業からも広く資金をお預かりしております。

JAからのお預かり分 2兆4,651億円
自己調達分 430億円



貯金残高 2兆5,082億円
(H20.9月末)

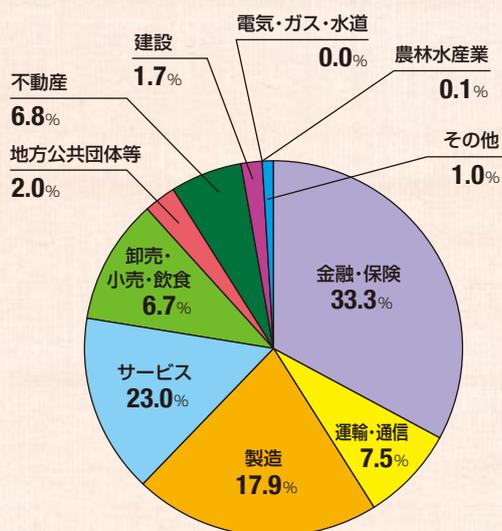
資金供給状況

地域経済の発展に寄与する金融機関(JAバンク)という経営方針から、農業金融はもとより地域の企業や個人の皆様の幅広い資金ニーズに迅速・的確にお応えするよう努めてまいります。

また、住宅金融支援機構、農林漁業金融公庫(10月1日より(株)日本政策金融公庫に承継)等の受託金融機関として、農業・住宅などの制度融資の窓口となっております。

さらに、埼玉県債の引受けによる資金は、県の公共事業、社会福祉活動等へ利用されております。

業種別残高構成比



貸出金残高 2,248億円
(H20.9月末)

文化的・社会的貢献に関する事項

当会は本来の事業活動に加え、地域金融機関として、自然環境維持・地域文化活動・福祉など、地域に対する貢献活動を実施しております。これからも様々な活動を通じて地域社会の発展と繁栄に貢献してまいります。

ゲートボール、グラウンドゴルフ大会

「埼玉県農協年金友の会連絡協議会」との共催により、ゲートボール大会・グラウンドゴルフ大会を開催し、年金友の会の活性化並びに、地域の皆様の健康づくり、仲間づくり等に協力しております。



埼玉県農協年金友の会グラウンドゴルフ大会
平成20年5月22日 彩の国くまがやドームにて

農業と環境、健康を考えるセミナー

J Aバンク埼玉では、地域の皆様380名をご招待し、農林水産省等の各審議会委員として活動しております女優の浜美枝さん、社会保険労務士の伊東勝己さんを講師に迎え、それぞれ「農業と環境、健康」、「少子高齢化による年金制度への影響」のテーマでセミナーを開催いたしました。



平成20年7月18日 大宮ソニックシティにて

「JAバンクの森」づくり活動への取り組み

森づくりを通じて環境保全や地球温暖化防止などに貢献するため、社団法人埼玉県農林公社と協働し、「JAバンクの森」づくり活動を実施しております。

当会役職員による枝打ち等の森林整備作業を実施するとともに、森林整備に係る活動費の一部助成を行っております。



埼玉森林サポータークラブへの助成

県内で森林保護ボランティア活動を実施しているNPO法人「埼玉森林サポータークラブ」に対し役職員からの寄付金並びに当会からの助成金を進呈いたしました。



平成20年9月16日
当会江原会長より埼玉森林サポータークラブ
北村会長(左)へ目録を進呈

○埼玉県社会福祉事業団への活動助成

地域福祉に貢献するため、当会並びに役職員から県内の児童養護施設を運営・管理している社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団に対し、活動助成金を進呈いたしました。

店舗等一覧

■ 営業店舗

(平成20年9月末現在)

名称	所在地	代表電話番号	FAX番号
本店	〒330-9001 さいたま市浦和区高砂3丁目12番9号	048(829)3504	048(829)3588

■ 推進拠点

(平成20年9月末現在)

名称	所在地	代表電話番号	FAX番号
浦和事業推進部	〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2丁目16番6号	048(829)3010	048(829)3013
熊谷事業推進部	〒360-0031 熊谷市末広1丁目62番地	048(524)9711	048(525)4543
春日部事業推進部	〒344-0067 春日部市中央1丁目52番地8	048(737)6111	048(736)4434

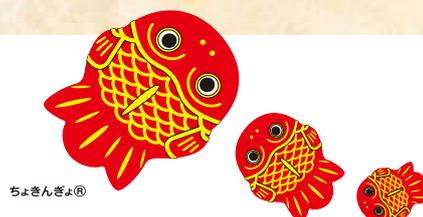
情報提供活動

■ ホームページのご案内

ホームページには、当会の概要や経営・財務情報をはじめ、各種金融商品の最新情報、JAバンク埼玉の各種お知らせなどを掲載しております。

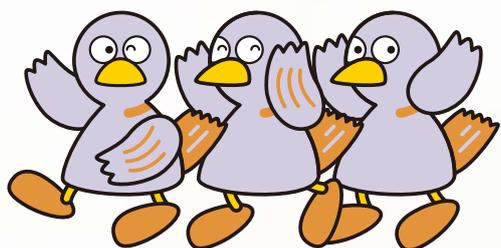
皆様からの積極的なアクセスをお待ちしております。

<http://www.jabank-saitama.or.jp>



ちよんぎょ®

『未来』を見つめる。



埼玉県のマスコット“コバトン”

〒330-9001さいたま市浦和区高砂3丁目12番9号
TEL 048(829)3504
<http://www.jabank-saitama.or.jp>